

レーニンのガレージへの支出について

七四一 エフ・エ・ジェルジンスキーへ

同志ジェルジンスキー！ 真剣に心配しているのだが、私のガレージ——国家保安部の特別の管理下におかれていると思うが——への支出に「水まし」がないだろうか。この施設を〔縮小〕し、それにたいする支出を削減すべきときではないだろうか？ ありとあらゆる支出が削減されているのだから。

この手紙を「副議長」のリュコフとツェルーパーに見せて、確実な、分別のある、事情を知った人に、この項目の支出の削減と縮小はできないかどうかを調べさせ、できるだけ削減するようお願いする*。

五月十九日 レーニン

事項訳注 P919

* ジェルジンスキーはこの短信につきのような判断を書いている。「この縮小は許されないと思う。ガレージには車が六台、12 名いるにすぎない。給料は普通。車の手入れはいい。車はむだに走りまわっているわけではない。」この判断には、ツェルーパーとリュコフも署名している。

第 45 卷 P723 『エフ・エ・ジェルジンスキーへ』

1922 年 5 月 19 日に執筆

1959 年に『レーニンスキー・ズボールニク』第 36 卷にはじめて発表

手稿によって印刷